## 「第7次エネルギー基本計画改定への提言」 脚注リスト

※1 UNEP「排出量ギャップ 2023 報告書」より

Emissions Gap Report 2023 (排出ギャップ報告書 2023)が発表されました。(UNEP) | JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

※2 グラフのようにグリーンランドと西南極の融解は 1.5℃を超えると「可能性が高い」と予測されています。

グリーンランドの海面上昇については以下を。

A0 panel1 (nipr.ac.jp)

西南極の海面上昇については以下を。

南極西岸の棚氷の融解「コントロールできない」 海面上昇の引き金に [気候変動を考える]: 朝日新聞デジタル (asahi.com)

合わせて 10mを超える海面上昇が避けられないと予測されています。

※3 都市圏の熱中症搬送者数の予測については以下を。

日本の都市圏における熱中症搬送者数は2040年に2倍の可能性 ~人口減にもかかわらず、 高温化、高齢化で搬送者数の増加~ | 国立大学法人名古屋工業大学 (nitech.ac.jp)

※4 東京都の猛暑日と真夏日の予測については、以下の東京管区気象台の予測情報リーフレットを。

tokyo-l2021.pdf (jma.go.jp)

※5 日本の気候政策シンクタンク「Climate Integrate」のサイトより。

レポート「日本政府の気候・エネルギー予算と GX 投資の現状」 | Climate Integrate

※6 奥島真一郎(筑波大学)の以下の文章より。

Kagaku 87(11) 1019.pdf